



信じて 共に Challenge! Go!

鴨島東中学校 第3学年便り 令和5年6月30日発行

友達との心震える時間



検索 新 鴨島東中HP

6月は特に、部活動と人権学習の強調月間でした。
 運動系の部活動は北部Bブロック総体を全力で戦いました。部活動への熱量は、きっと受検勉強への粘り強さとなり、受検という団体戦をみんなで戦い抜くことに繋がるでしょう。
 人権学習は「娘の遺してくれたもの」の学習、同和問題講演会、学級人権集会、学年人権集会を行いました。部落差別をはじめ、中学校3年間で学んできた様々な人権課題について考え、全員で意見交換をしました。人の心の痛みや辛さに共感し、今まで学んだ正しい知識を生かし、差別をしない・許さない自分をつくっていきたくて決意を新たにしました。

「娘の遺してくれたもの」を学習して

日航機墜落事故で亡くなった田中愛子さん。愛さんが部落差別に苦しみながらも差別解消に向けて歩み続けてこられたのはなぜか、また、彼女が家族、友達、婚約者やその家族を大切にしていかに生きてきたかについて学び、自分の目指す生き方を模索することができました。

○私は、人と人の間に差別や偏見は必要ないし、人と関わる上で関係ないものだと思う。愛さんは部落出身ということだけでなく、周りに愛され信頼される人だった。友達は急いで遺体が収容された体育館へ駆けつけた。母親は爪だけでその遺体が愛さんだとわかった。こんなに周りが必死になるのは、愛さんが愛されていた証であり、愛子さん自身が周りの人を愛し、信頼する生き方をしていたからだろう。私も愛さんのように、周りの人を愛し信頼し合える人、今を一生懸命生きる人になりたい。また、婚約者や彼の親のように部落差別に対してともに闘える人になりたい。もし、私の大切な人が部落出身だったらどう反応できるかわからないが、私は部落出身かどうかに関わらず、大切な人は大切だし、部落出身ということでその人を判断したり差別したりしないと思う。私は差別に苦しむ人に寄り添い支えていきたい。人間は皆平等で、誰に対しても公平であるべきです。人と人の間で生じる差別。私がすべての人を愛し、寄り添えば良いだけです。

同和問題講演会（大湾昇さん）を通して

6月5日（月）講師に大湾昇さんを迎えて同和問題講演会を行いました。いろいろな人の生き様を話しながら、人を大切にしてほしいと伝えていただきました。



○大湾さんがおっしゃった「差別とは、努力しても変えられない、変える必要のないことを、悪意を持ってまたは持っていないくても、人を攻撃することである。」ということに共感した。理不尽な理由をつけて差別することや、差別する人、その状況が私は大嫌いです。でも、実際はそれを正す勇気がなく、見て見ぬふりをする私だった。差別をなくしたいとか、辛い思いをする人を一人でも救いたいと思っても、行動に移せなかった。だから、いじめを見たら、いじめられている人の味方になって助けたり、こそこそ悪口を言う人を見たら、そのとき止めたりする私になると決心した。レイナさんの話を聞いたときは胸が苦しくなった。なぜ心優しいレイナさんがいじめられるのか大きな怒りがわいた。私がレイナさんならば、学校に行きたくなかっただろうし、最悪な場合は死にたいと思うかもしれない。でも、毎日学校に行くレイナさんはとても強い格好いい。大湾さんの話を聞いて、私は自信をつけて差別やいじめを少なくしたいと思った。そして、すべての人が幸せに自分らしく生きていける社会をみんなと作りたい。

学年人権集会で3年間の人権学習を振り返り

6月21日（水）学年人権集会がありました。人権委員の進行で、さん「戦争から学んだ私の思い」、さん「差別と向き合う私」、さん「人を人として大切に」、さん「差別と向き合い闘う」の人権作文を聴き、学年全員で意見交換をしました。3年間人権学習を積み重ねることによって、人として成長し友達との関わりが変わってきたと実感したり、様々な人権課題について正しい知識を得て、これからも差別解消する自分をつくりたいと今の決意を話したりしました。

○4人の作文を聴いてたくさん感じる事があった。これまで、部落差別、ハンセン病問題、戦争などについて学んできた。それぞれについて改めて考え直すことができた。差別をしてはいけないという考えだけで終わらせるのではなく、差別をなくす行動をしていきたい。3年生については良くなってきたところがたくさんあると感じた。学年人権集会ができてよかったし、全員が発言したこともよかった。○学んだことは何が正しいかよく考えることです。話を聞いて鵜呑みにせず、間違いやおかしいことに気づき、はっきり意見を言える私になりたい。無意識に差別発言せず、自分の言動が誰かを傷つけていないか考えながら生きたい。○3年間の人権集会で一番充実した話し合いになった。みんなに伝えようと多くの方が挙手してくれて嬉しかった。私の進行でミスがあったけれど、みんな話を聞いてくれた。「この学年で人権集会ができてよかった。」と思った。出た意見を参考にし日常生活で生かしたい。



＜保護者のみなさまへ＞ 県総体に出場する部、吹奏楽部、芸術部以外の部は2年3か月に及ぶ部活動を終えました。3年生に進級した4月に子どもたちが思っていた「受検生になった自分」という自覚を強め、家庭学習時間を増やすように、再度学年集会で話をしました。夏休みの高校体験入学を良い刺激にして、希望の進路に進める学力をつけるために最善の努力ができるよう支援したいと思います。